

審議会会議録

1	会議の名称	令和3年度第3回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	令和3年9月17日（金） 午後1時30分～午後3時30分
3	開催場所	富津市役所5階 502・503会議室
4	審議等事項	議題 （1）第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の改定について （2）公立保育所の再配置について （3）その他
5	出席者名	○出席委員 真下 めぐみ、村治 直子、安藤 鮎香、黒木 淳一、岩濱 真也、宮原 俊一、有馬 佐知子、飯田 裕美、平野 香織、都倉 康宏、古川 哲也、諸岡 賛陸、保坂 典江 ○事務局 坂本健康福祉部長、中山子育て支援課長、水島子育て支援係長、白石主任主事、荒木主任主事、山口健康づくり課総括保健師、川島学校教育課指導主事
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	1人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日、会議の進行を務めさせていただきます、子育て支援課子育て支援係の荒木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議を始める前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>○会議資料 (事前送付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の改定について ・資料1-1 地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援 ・資料2 公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ ・資料3 グループ討議意見と市の考え方 ・公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙 <p>(当日机上配付)</p> <p>次第、委員名簿、席次表、グループ討議表、産前産後ヘルパー派遣事業案内チラシ</p> <p>(その他)</p> <p>富津市公立保育所再配置計画たたき台 (令和2年度第3回会議 資料1)</p> <p>公立保育所再配置計画たたき台に対するグループ討議内容(富津・大佐和・天羽地区)</p> <p>第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画(冊子)</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p> <p>諸岡会長</p>	<p>○会議の成立</p> <p>ここで、本日の委員の出席状況をご報告いたします。</p> <p>15名の委員のうち、委員名簿4番の菊地委員、11番の今井委員の2名におかれましては、本日欠席でございます。</p> <p>また、委員名簿1番の真下委員、2番の村治委員におかれましては、遅れる旨の連絡を受けております。</p> <p>現在11名の方が出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。なお、本日の傍聴人は1名でございます。</p> <p>会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p><次第1 開会></p> <p>ただいまから、令和3年度第3回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>議事に入る前に、諸岡会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。諸岡会長、よろしく願いいたします。</p> <p><次第2 会長挨拶></p> <p>皆さんこんにちは。平日のお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は議題(2)公立保育所の再配置についてグループ討議を3回ほど重ねてきました。今日は全体について討議をしていただきます。皆様の意見がこの再配置に大きく反映され</p>

発言者	発言内容
事務局 (荒木主任主事)	<p>ると思っておりますので、本日もよろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。会長には引き続き、議事の進行をお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第3 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、次第に沿いまして、議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、本日の会議録署名委員を指名したいと思います。私のほかに、慣例により委員の中からお一人をお願いしております。本日は、平野委員をお願いしたいと存じますので、よろしく申し上げます。</p>
諸岡会長	<p><次第4 議題></p> <p>それでは、次第4の議題に入ります。</p> <p>議題(1)「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の改定について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料1「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の改定について」及び資料1-1「地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援」を使用)</p>
事務局 (白石主任主事)	<p>議題1について、ご説明を申し上げます。</p> <p>資料1を御覧ください。</p> <p>今回の改正は、子ども・子育て支援事業計画に多様な集団活動事業の利用者支援を加えるものです。</p> <p>表の右側、新の列を御覧ください。</p>

発言者	発言内容
	<p>提供区域は、全市域です。</p> <p>事業内容は、小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動について、当該集団活動を利用する幼児の保護者の経済的負担を軽減する観点から、その利用料の一部を給付する事業です。</p> <p>実施時期は、令和3年4月です。</p> <p>今後の方向性は、対象施設を利用している申請者に対して助成を行います。</p> <p>改正理由は、この事業の財源となる「子ども・子育て支援交付金」の交付を受けるには、子ども・子育て支援事業計画への位置付けが必要なためであります。</p> <p>会議資料1-1を御覧ください。</p> <p>地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援の資料です。</p> <p>裏面を御覧ください。</p> <p>この事業は、令和3年度から新たに実施されているものです。</p> <p>南房総市の一般社団法人森のようちえんはっぴーから南房総市、館山市にお願ひし、この事業を実施しているが、富津市在住の児童が5月に入園したので富津市に支援をお願ひしたいとの申し出がありました。</p> <p>その後、基準適合審査の申請があり、審査の結果、基準に適合していると判断し、実施することといたしました。</p> <p>事業の具体的な内容について、御説明申し上げます。</p> <p>1. 支援対象経費は、幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、本事業の要件を満たす施設等を利用する満3歳以上の幼児の保護者が支払う利用料です。</p> <p>次のページを御覧ください。</p>

発言者	発言内容
	<p>子ども・子育て支援新制度の概要を示したものです。</p> <p>1 番左側の「子どものための教育・保育給付」は、認定こども園、幼稚園及び保育所に施設型給付費として、小規模保育などの事業に地域型保育給付費として、それぞれ財政支援を行うものです。</p> <p>2 番目の「子育てのための施設等利用給付」は、1 番目の新制度の対象とならない幼稚園、認可外保育施設、預かり保育等の利用に対して、施設等利用費として支援を行うものです。</p> <p>3 番目の「地域子ども・子育て支援事業」のうち④の多様な事業者の参入促進・能力活用事業のメニューの一つが今回、追加する事業です。</p> <p>以上の三つは、市町村主体となります。</p> <p>4 番目の「仕事・子育て両立支援事業」は、企業主導型保育事業、事業所内保育を主軸とした企業主導型の多様な就労形態に対応した保育サービス、そして企業主導型ベビーシッター利用者支援事業に国が支援を行うものです。</p> <p>このように、多様な集団活動事業の利用支援事業は、1 番目の「子どものための教育・保育給付」、2 番目の「子育てのための施設等利用給付」及び4 番目の「仕事・子育て両立支援事業」のいずれも利用していない子どもが対象となります。</p> <p>恐れ入りますが、前のページにお戻りください。</p> <p>2. 基準額は、対象児童 1 人当たり 20,000 円です。</p> <p>3. 給付方法は、市町村等から保護者に直接給付します。</p> <p>4. 対象施設等の基準は、「【必須】以外は地方の裁量で内容や確認方法等の変更が可。その際は、合議制の機関で審議」とありますが、富津市では国の示す基準どおりとしています。</p>

発言者	発言内容
	<p>基準のうち主なものを申し上げます。</p> <p>活動に従事する職員は、幼稚園教諭、保育士又は看護師の資格を有する者が3分の1以上であること。配置基準は、3歳児20人につき1人以上、4歳以上児30人につき1人以上で、施設で2人を下回ってはならない。</p> <p>開所時間は、おおむね、1日4時間以上8時間未満、週5日以上、年間39週以上。</p> <p>幼児教育・保育の無償化の対象となる満3歳以上の子どもの数が、当該施設等を利用する満3歳以上の子どもの概ね半数を超えないこと。</p> <p>消火用具、非常口の設置、非常災害に対する計画策定、訓練の実施などです。</p> <p>5. 国と地方の負担割合は、国、都道府県、市町村それぞれ3分の1です。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p>
諸岡会長	事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑はございませんか。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>続いて、議題(2)「公立保育所の再配置について」を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料2「公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ」及び資料3「グループ討議意見と市の考え方」を使用)</p>

発言者	発言内容
事務局：中山課長	<p>議題2について、ご説明を申し上げます。</p> <p>前回会議において天羽地区の案をご説明し、皆様からいただいた意見を取りまとめましたので、資料2及び資料3に沿ってご説明いたします。</p> <p>先ず、資料2の表の作りとしては、前回までの富津地区、大佐和地区の案に対する意見の取りまとめと同様に、左から通し番号、たたき台の掲載ページ、どの項目に対するご意見か、いただいた意見、一番右がその意見に対する現時点での市の考え方を記載しています。</p> <p>今回天羽地区の案への意見のうち主なものとそれに対する市の考え方をご説明いたします。</p> <p>1 ページの番号2、天羽地区全体への意見として、「今でも3歳以下の子どもが少ないのに、便利な方へ行ってしまい、3歳以下の子たちが成長と共に3歳以上の子が少ない年齢が出てくるのではないか？」3歳以上児をある程度の規模に集まっていたら保育を行うことで、ますます子どもの数が減ってしまうのではないかと、心配を寄せられました。これに対し市は、皆様にいま議論していただいている保育や教育だけでなく、それ以外にも、きめ細やかな子育て支援策を実施することで、安心感をもって富津市で子育てをしていただけるよう、環境づくりに努めていく考えです。</p> <p>次に、番号4、5では、金谷保育所の統廃合について、「立地・施設の安全面への課題があるのであれば、早期に統合を検討すべき。たたき台では、富津地区・大佐和地区が先にスケジュールを立てているが、1～2年でも検討すべきや、老朽化し、危険であるため、早急な整備が必要だと思う」と言ったご意見が寄せられました。</p> <p>市では、日頃から施設の状況を把握し、児童の安全確保に努める一方、たたき台に記載のとおり、施設の状況によって</p>

発言者	発言内容
	<p>は金谷保育所と竹岡保育所の集約の前倒しの必要があると考えています。</p> <p>2 ページの番号 7、「家庭的保育事業でも良いのではないか？」と番号 10 の「小規模保育事業の認可定員 6～19 人より少なくなる可能性もあるのではないか？たたき台の時点で 4～6 人とぎりぎりの人数」とのご意見ですが、家庭的保育事業は家庭的保育者の居宅等で保育を実施する形態で、子育て支援員研修や家庭的保育者認定研修を修了した方が市の認可を受け開設することができます。この研修を受講終了している方の人数が市ではとても少なく、現状では安定的に保育を提供できる段階ではないと考えています。一方で、市が小規模保育事業を開設する場合は、市の保育士が保育にあたるため、施設面での対応ができれば、提供が可能となります。今後は、家庭的保育者養成の研修受講者が増えるよう、周知に努めますが、現段階では市が小規模保育事業を実施することが保護者に安心していただけると考えています。</p> <p>小規模保育事業を開設するにあたって、認可定員は 6～19 人であり、これはこの範囲で受入れの定員を定めることが求められているもので、児童数が 6 人を下回った場合でも、必要性があれば継続いたします。</p> <p>3 地区それぞれにいただいたご意見について、市の考えをお示ししました。</p> <p>意見は、計画を実施に移す際の具体的なニーズが多く、計画を見直しして欲しいと言ったものはなく、委員の皆様は公立保育所の課題や再配置の必要性をご理解いただいたものと考え、たたき台を修正した箇所はありません。</p> <p>いただいたご意見は実際の再配置、民間移管の公募や統合など、計画を実行する際に参考に進めることといたします。</p> <p>続いて資料 3 ですが、こちらはグループ討議の後、発表され</p>

発言者	発言内容
	<p>たものを打ち直したものですので、説明は省略させていただきます。</p> <p>資料2と資料3についての説明は以上で、これからグループでの討議をお願いしますが、次回会議には、パブリックコメントとして市民から広く意見をいただく計画の案としてお示しする予定です。</p> <p>前回までの会議では地区ごとに説明をしましたので、富津地区→大佐和地区→天羽地区というような取組順のイメージができてしまっているかもしれませんが、本日の会議では全体を見通して、今後、計画を実施に移していくスケジュール、再配置の進め方など、皆様から意見を出していただきたいと考えています。</p>
諸岡会長	事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑はございませんか。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	それでは、これよりグループ討議に移りたいと思いますので、活発な議論をお願いします。
事務局 (荒木主任主事)	<p>事務局よりご案内いたします。</p> <p>本日は、再配置計画の全体議論について1時間程度、グループ討議を行っていただきます。14時50分になりましたら声をかけさせていただきますので、それまでの間、グループ討議をお願いいたします。討議の途中で、疑問や確認したいことが生じた場合は事務局にお尋ねください。グループ討議終了後、それぞれのグループで出た意見等を会議全体で共有するために、議論した内容をグループごとに報告していただ</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p>	<p>きます。各グループに討議で出た意見や質疑をとりまとめるためのワークシートを1枚ずつお配りしております。このワークシートは会議終了後、事務局へご提出をお願いいたします。</p> <p>なお、本日グループ討議で出された意見や質疑等については事務局でとりまとめ、次回の会議で市の考えとともに報告させていただきます。それではグループ討議を開始してください。</p> <p><グループごとに討議></p> <p>(1時間経過後)</p> <p>1時間が経過しましたので、ここで会議を一時中断し、5分ほど休憩をとりたいと思います。3時ちょうどから再開しますので、それまでに席にお戻りください。よろしく願いいたします。</p> <p>(5分間休憩)</p>
<p>諸岡会長 (Aグループ代表) 古川委員</p>	<p>皆さんお揃いのようなので、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。先ほど討議していただいた内容をグループごとに報告させていただきます。それでは、Aグループから報告をお願いします。</p> <p>たたき台には、「養成校を卒業しても保育士として就職しない者の増加や経験の浅い保育士の離職率が高くなっていることから、多様化する保育ニーズに応えられないだけでなく、クラス編成に苦慮しています」と記載されていますが、市として原因分析は行っているのでしょうか。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (中山課長)</p> <p>(Aグループ代表) 古川委員</p>	<p>現状として認識はしていますが、分析というところまでは踏みこめておりません。今整理をしているところです。</p> <p>Aグループは、その背景や対策について意見を取りまとめました。</p> <p>保育士業務は、ただ子どもを預かるだけでなく、クレームを言ってくる保護者の対応や、地域の子育て支援などかなり業務が多岐にわたっています。</p> <p>若い保育士の離職の背景には、結婚退職、出産退職なども背景にあると思います。富津市で保育士として働きたいと思ってもらうためには、待遇の見直し、福利厚生充実（リフレッシュ休暇、施設の利用優遇など）、職場環境の整備を物的環境、人的環境の観点から考えてみると、物的環境としては、老朽化した施設を改修して魅力的な施設とすることで、ここの施設で保育をしてみたいと思ってもらえるのではないかとこの声が出ました。</p> <p>人的環境としては、職場内での人間関係につまづいてしまい長く続かないケースが多いようです。公立・民間問わず現場で働く保育士をケアするカウンセラーの配置などが望ましいのではないのでしょうか。</p> <p>皆様にお聞きしたいのですが、男性保育士について、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>富津市には男性保育士は採用されているのでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p> <p>(Aグループ代表) 古川委員</p>	<p>10月1日付けで男性保育士を採用予定ですが、現時点では男性保育士はおりません。</p> <p>男性保育士へ抵抗感を示す例もあり、わいせつ行為の問題などがあるのは事実ですが、個人的には男性保育士のメリッ</p>

発言者	発言内容
	<p>トも多いと思います。</p> <p>子ども達のエネルギーはすごいもので、そのエネルギーに対応できる若い男性の力はプラスになるのではないかと思います。</p> <p>男性保育士の登用も視野に入れていただきたい、新人研修の充実も質の高い保育士の確保につながるのではないかと考えました。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Aグループからの討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑がありましたらお願いします。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、Bグループの報告者の方お願いします。</p>
(Bグループ代表) 保坂委員	<p>Bグループでは、5点ほど意見が出ました。</p> <p>1つ目はバスステーションについてです。バス送迎をすることで金銭面、時間の面で親の負担が増えるのではないかという意見です。例えば、バスステーションでピンポイントで時間が決められていると、働いている保護者の方は非常に難しいのではないのでしょうか。現在ですと、園に点ではなく何時から何時にお迎えに行くという形で幅がありますが、バスステーションに何時何分で下車という形になってしまうと、保護者がそれに合わせなければならなくなってしまうので、大変になってしまうのではないかと思います。保護者が時間に都合をつけて、自分で送迎してしまうケースも出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>バスステーションはどのような形なのだろうか、保育士は</p>

発言者	発言内容
	<p>配置されるのだろうか、建物は子ども達の命が守られる安全なものなのだろうかという意見も出ました。</p> <p>2点目は、大佐和地区、天羽地区は1つずつ公立を残しても良いのではないかという意見も出ました。</p> <p>0歳児～2歳児のうちは、小規模ステーションで預かってもらい、その後公立があれば連携していけるのではないかということでした。</p> <p>その他、自分の地域で子どもを育てることも大事にしていきたいという意見や再配置が進み子ども達が集団生活を経験できるようになることは非常に良いことだと思うので、再配置を進めて集団生活をしっかり学ばせたいという意見も出ました。</p> <p>最後に、何より子ども達のことを1番に考えて進めてもらえたらうれしいという声が出ました。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Bグループからの討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑等ありませんか。</p>
事務局 (中山課長)	<p>送迎ステーションについて、説明が不足しており、皆様にご理解をいただけていない点があるようですので、説明をさせていただきます。</p> <p>建物の安全面に対する不安については、現段階の考えですが、既存の園舎が使えれば既存の園舎を使用しますし、金谷のように立地そのものにリスクがある場合は、近くの公共施設を改修するなどして送迎ステーションとして使用していきたいと考えています。安全面については、十分に基準を満たした施設で行っていきます。</p> <p>送迎ステーションにバスの時間に合わせて来なければいけないのかということについては、例えば7時～8時までに</p>

発言者	発言内容
	<p>送って来られた方は1便で、その後来られた方は2便を用意するなど、時間の帯の中でステーションに送ってきていただければバスを利用できるような形にしたいと考えております。</p> <p>帰りも、〇時にステーションに帰ってきて、保護者がお迎えにくるまで保育士が安全に保育を行っていきたいと考えております。</p>
諸岡会長	この他に、何か疑問点などありますか。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	それでは、Cグループの報告者の方お願いします。
(Cグループ代表) 都倉委員	<p>金谷保育所は、老朽化していて、立地的にも危険な場所に建っているので、再配置を抜きにしても、新たなステーションの場所を早急に選び、安全性を確保してスタートしてもらいたいというのが全体の意見でした。</p> <p>青堀保育園、飯野保育所に入れず吉野保育所に通っている児童がいるようですので、希望する園に入所できるようにするためにも整備をしていく必要があります、そのためにも保育士確保が不可欠で、処遇の改善が必要である。市で手当を補助して増やすことはできないかという意見が出ました。</p> <p>富津地区の小規模保育所については、青堀保育園の定員が増加すれば、整備する必要がなくなるのではないかという意見がありました。次期法人が青堀保育園を始める時には、定員を増やしてもらいたいということでした。</p> <p>パブリックコメントが今後予定されていますが、バス送迎について、たたき台の中にもバス送迎ステーションについて</p>

発言者	発言内容
	<p>の考え方を明確に入れて、見た人がわかりやすいものを示してもらいたいという意見がありました。</p> <p>全体的な意見として、子育てという視点からポジティブな発想をもって、住みやすい市になるようになれば良いという意見や、子育て支援が充実している地域は人口も増えていくと思うので、この再編で住みよい街になることを願うという意見でした。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Cグループから討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑はありますか。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、これより全体会議とします。今回が再配置計画案に反映できる最後の会議となります。これまでいただいたご意見の中で、施設の安全面の課題から早急な整備が必要だといったご意見もありました。先ほど事務局から説明のあったように、取組みの順序の変更といったことでも構いませんので、ご質疑等がございましたらお願いしたいと思います。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、議題(3)「その他」に入ります。委員の皆様からなにかありますか。本日、これまでの内容で確認したいことなどがありましたら挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。</p>

発言者	発言内容
事務局 (中山課長)	<p>ないようでしたら、事務局からその他としてなにかありましたらお願いします。</p> <p>ここで、委員の皆様にお願いがございます。</p> <p>会議委員の任期ですが、名簿に記載のとおり、皆様をお願いしております委員の任期は本年 11 月 13 日まででございます。ということは、計画策定の途中で任期が切れてしまうわけですが、事務局としては、これまで公立保育所の再配置計画に対するご議論に携わっていただいている皆様に、計画が整い、決定まで、是非引き続き委員をお引き受けいただきたいと考えております。</p> <p>改めて文書にてお願いさせていただきますが、ご承知おきくださいますようお願いいたします。</p>
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	他にございますか。
事務局 (水島係長)	<p>初めに、次回子ども・子育て会議の実施予定についてご案内させていただきます。</p> <p>回りの第4回の会議は、11月頃に予定しております。</p> <p>回りの会議では、パブリックコメントとして市民から広く意見をいただく公立保育所再配置計画(案)をお示しし、ご審議いただく予定です。</p> <p>開催日等が決定しましたら、郵送でお知らせさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に報告事項として、2点ご報告させていただきます。</p> <p>1点目は、「産前産後ヘルパー派遣事業」の実施についてご報告させていただきます。</p>

発言者	発言内容
	<p>本日机の上にて「産前・産後にヘルパーを派遣します」と書かれた案内チラシを配布させていただきました。</p> <p>この事業は、妊娠期、産後期において、家族等からサポートが受けられず支援が必要な家庭に産前産後ヘルパーを派遣して、食事や洗濯、掃除などの家事に関する支援や授乳やもく浴の介助などの育児に関する支援を行うものです。</p> <p>コロナ禍において里帰りができない、核家族化の進行により出産前後に家族からサポートを受けられない家庭が増加しており、そういった家庭へ産前産後ヘルパーを派遣して、お母さん達の負担を軽減しようとするものです。</p> <p>対象は、妊娠届を提出した妊婦、生後6か月未満（多胎児の場合は1歳未満）のお子さんを養育する母親等です。</p> <p>利用料は、生活保護世帯及び市民税所得割非課税世帯は自己負担なし、その他の世帯は1時間あたり700円の自己負担で利用できます。</p> <p>市内2か所の事業所と9月1日付けで委託契約を締結し、事業を開始したところです。</p> <p>次に、2点目の報告事項として「子育て短期支援事業」の実施についてご報告させていただきます。</p> <p>お手数ですが、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の冊子の43ページをお開きください。</p> <p>上段の（6）子育て短期支援事業をご覧ください。</p> <p>この事業は、保護者の疾病や就労、育児疲れ等により家庭でお子さんの面倒をみることが一時的に困難となった場合に預かりを行う事業で、泊りがけで預かりを行う「ショートステイ事業」、夜間の時間帯に預かりを行う「トワイライトステイ事業」、休日に預かりを行う「休日預かり事業」の3種類あります。</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画では、今後の方向性として「令和4年度に委託施設を確保します」としてありますが、委託施設が確保できる見通しとなったため、10月1日事業開始に向けて準備を進めておりますのでご報告させていただきます。</p> <p>報告は以上となりますが、最後に、お願いでございます。</p> <p>たたき台に対する意見についてですが、事前に送付いたしました「意見書用紙」は会議終了後に提出をお願いいたします。</p> <p>〈次第5 閉会〉</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和3年度第3回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりましてありがとうございました。</p>